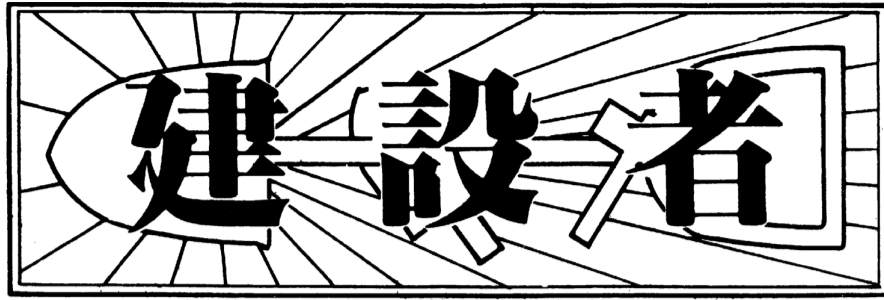


今月の葛飾組織現勢

2023年10月1日	4,209人
加入	91人
転入	1人
脱退	40人
転出	3人
2023年11月1日現在	4,258人



東京土建一般労働組合

葛飾支部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
 電話 (5698) 1 2 6 1
 FAX (5698) 1 2 6 2
 発行人 関根伸正

秋の拡大月間 159人の加入で超過達成



打上式で拡大達成を祝う

● たつみ ● 奥戸 ● 細田高砂 ● 北水元 年間も達成

9・10月の秋の仲間増やしの拡大月間は、支部目標149人に対して159人の加入で、10人を超過して達成。分会ではたつみ分会の21人の加入を筆頭に12分会が達成、その中で6分会が超過の加入での達成となりました。さらに、この月間の結果からたつみ・奥戸・細田高砂・北水元の4分会が年間目標も達成となりました。また、青年部・女性の会・建長会もそれぞれ目標を達成しています。この取り組みにご協力いただいた組合員・家族のみならず、あ

りがとうございました。

この秋の仲間増やしの拡大月間は、8月27日(日)の活動者会議後に開催した出陣式で、スタートダッシュ目標(持ち寄り成果3人)を設定し、46人の持ち寄り成果で、12分会がスタートダッシュ目標を達成してのスタートとなりました。そして中間である9月末の時点では、11分会が目標数に対して半数以上の加入成果で中間目標達成。支部目標も91人で中間目標を達成することができました。行動では、堀切分会の駅頭宣伝行動をはじめ、ジャンボハガキを使った組合員訪問行動、看板やポスター貼りなど各分会が工夫を凝らしながら取り組んできました。

その後も順調に成果を積み上げ、10月30日(月)支部会館での拡大打上式を超過達成という結果でむかえることができました。

秋の拡大月間は終わり、11月1日付組織人数は、4258人。1月1日付人員が4221人に対して、実増は37人となりました。次は残り2ヶ月、今年の組織実増に向けて年末拡大行動に取り組んでいきます。組合員数が増えることは組織の力にもつながります。その力は、国保補助金獲得に対する大きな力にもつながります。

多くの仲間を迎え入れて、私たち建設業界の処遇改善に向けた組合要求運動の力にしていきましょう。

秋の拡大成果表

	2023年1月1日付	2023年11月1日付	1月比増減	秋の拡大		成果表 11月1日現在																				
				目標数	成果数																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
たつみ	478	500	22	17	21	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
奥戸	384	399	15	14	19	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
本田立石	324	325	1	11	11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
青戸	147	151	4	5	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
中央	382	375	-7	13	17	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
堀切	262	255	-7	9	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
亀有	383	382	-1	13	3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
細田高砂	377	381	4	13	15	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
柴又	176	174	-2	6	6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
新金町	299	297	-2	11	11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
北水元	182	182	0	6	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
幸田	271	279	8	10	13	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
水元	377	381	4	13	13	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
その他	179	177	-2	8	5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
合計	4221	4258	37	149	161	9月94人 10月67人 合計=161人																				

1月1日付人員比 プラス 37人



集まった財務省宛要請ハガキ

財務省宛ハガキ要請 多くの組合員の力で進めよう

毎年皆さんの協力を得ながら取り組んでいる土建国保への補助金確保のための

ハガキ要請行動。これまで厚労省が組み立てる次年度の概算要求金額を減らさなため6・7月に取り組んだ厚労省宛の要請ハガキ。東京都の補助金を獲得するため8・9月に取り組んだ東京都宛の要請ハガキ。そして、今(10・11月)取り組んでいるのが厚労省からの概算要求を減額させないために取り組む財務省宛の要請ハガキ行動。8月末に厚労省が財務省に提出した来年度の概算要求額(国保組合関係予算 今年度比27・1億円増の概算要求)を削減させない取り組みです。ハガキシート組織人員分を目標に取組みを進めています。多くの組合員・家族の力で進めていく必要がありますので、ご協力をお願いいたします。

寅さん

組合に加入して36年。細田高砂分会に所属して、長い間支部の特に賃金運動に積極的に取り組んでこられたきた斎藤幸雄さんからの建設業への思いを文字にいただいた。長年建設業にたずさわって、組合運動に関わってきたからこそ今の建設業を心から心配する言葉である。

『踏ん張ってー建設業界』

「踏ん張ってー建設業界」 昨今、建設業界の倒産件数が過去5年で最多になり、職人の高齢化や、若手職人の成り手の減少で、「人手不足」は深刻だ。特に木造住宅の大工の減少は、ここ20年で半数以下になり、60才以上が4割に。個人事業主「二人親方」は、働き方改革から取り残されて、更にインボイス制度(適格請求書)導入で、事務負担増もあり、後継者不足も相まって、高齢事業主の負担は重く、廃業に拍車がかかりそう。24年以降、残業規制で更に人手が必要になり、現場での職人引き抜き合戦が起きかねない。

人手不足と合わせて深刻なのは、多発する労働災害。経験ある職人が少なくなると作業の進行が低下し、無理な工期の中の作業となり、見直しや検討の時間がなくなり、事故が起きかねない。

9月の東京駅近くの複合ビルの工事現場の鉄骨落下で5人死傷している。

案件ごとのルールをしっかり決めて、労働環境改善につなげてほしい。【細田高砂分会 齋藤幸雄さん投稿】

第46回住宅デー 区内13会場で開催

福祉とまちづくりの
後援・葛飾区
小南大行

第46回 住宅デー

包丁とき 住宅相談コーナー
模範店 など楽しい企画も!

住まいの相談会
30人以上参加
10人以上参加

地元建設職人のミニフェア

無料
手すり取付ボランティア
65歳以上の高齢者、障害をもつ家族がいる方、詳しくは会場にてお申し込みください。

ご相談ください
屋根・石綿調査・雨もり・リフォーム・耐震改修など

後援：国土交通省・林野庁・東京都・東京都社会福祉協議会・住宅保証機構（株）/中央労働金庫東京都本部・全労済東京推進本部・住宅金融支援機構（一社）/東京都信用金庫協会（一社）/東京都木材団体連合会

10月1日(日)に11会場(8分会)、8日(日)に2会場(3分会)で、住宅デーを区内各所で開催。今年度は、従来の春の統一開催日による開催ではなく、春・秋のいずれかの開催を分会が選択して、

開催を進めてきました。秋の拡大月間の中間に位置する10月初旬の開催にあたり、多くの組合員の参加で盛り上げるためにも、9月までの拡大月間中の組合員訪問も含めて、役員や組合員とのコミュニケーションを図りながら、住宅デー成功に向けて計画をすすめてきました。

当日は、地域住民からの要望が多い包丁研ぎをはじめ、住宅相談、模範店、工作教室など幅広く展開。中でも工作教室を展開した会場については、教育委員会を通じて最寄りの小学校に工作教室のチラシを配布したこともあり、多くの親子連れ来場者でにぎわいました。

開催分会の中でも多くの来場者でにぎわった水元分会。迎える組合員も30人以上で準備にたずさわり、工作教室や独自企画のトイレットロール積みなど、来場者が来て楽しむもりだくさんの企画を準備し、大成功で終えることができました。

各分会の会場の様子は、3面をご覧ください。

開催を進めてきました。秋の拡大月間の中間に位置する10月初旬の開催にあたり、多くの組合員の参加で盛り上げるためにも、9月までの拡大月間中の組合員訪問も含めて、役員や組合員とのコミュニケーションを図りながら、住宅デー成功に向けて計画をすすめてきました。

当日は、地域住民からの要望が多い包丁研ぎをはじめ、住宅相談、模範店、工作教室など幅広く展開。中でも工作教室を展開した会場については、教育委員会を通じて最寄りの小学校に工作教室のチラシを配布したこともあり、多くの親子連れ来場者でにぎわいました。

開催分会の中でも多くの来場者でにぎわった水元分会。迎える組合員も30人以上で準備にたずさわり、工作教室や独自企画のトイレットロール積みなど、来場者が来て楽しむもりだくさんの企画を準備し、大成功で終えることができました。

各分会の会場の様子は、3面をご覧ください。

秋の拡大月間で組合員を増やす取り組みに並行して、秋の共済推進月間開催中です。「仲間の助け合い」である「どけん火災共済」は、常に仲間の生活に寄り添い、内容を充実させながらも、掛金の引き上げは設立以来行ってきていません。いまだに続く円安、物価高は私たちの生活を圧迫し続けています。そんな状況だからこそ、安い掛け金のどけん火災共済をはじめとした共済制度の優位性は一層際立っています。

他保険を利用しているが掛金が高くなってしまったなど、どけん共済に興味がある場合は、葛飾支部にご連絡ください。

【共済推進月間】
火災共済加入年間目標：84件
地震共済加入年間目標：84件
また、加入したがり座登録をしていない加入者向けにも口座登録で500円のクオカードプレゼントキャンペーンを実施中です。この機会に口座登録を進めましょう。

どけん火災共済・どけん地震共済キャンペーン2023を実施中です。どけん火災共済に加入の方は応募をして景品をもらえるチャンスです。申込用紙など不明な点は、支部までご連絡ください。キャンペーン締切：12月25日



支援物資を配布する糸賀社保対部長

回目となる生活支援で、コロナ禍になって以降これまで9回の開催を数えます。

当日のボランティアは50人。10時から準備を進め、14時開始。事前に周辺地域へチラシ配布してきた効果もあり、支

援を求めている人は、8時頃から集まりはじめていました。来場者の混乱を避けるためにも12時から整理券を配布しましたが、その時点で用意した整理券300枚を配布するほど多くの支援を求めている人が会場に集まっていました。

用意した支援物資は、米2kg350個分をはじめ、区から提供のあったビスケット、水や、地域の青果店や有志個人からの提供された野菜や乾麺など。事前に小分けにしたものを来場者に迅速に手渡しをしていきました。集めた物資も約400人の来場者へ1時間経たずに配布が終了となりました。

改めて支援を必要としている区民の多さを実感した1日となりました。

火災・地震共済推進に取り組もう

共済推進月間



ウォーキング大会に124人が参加

事前に厚生文化部会で企画を練り、当日を迎えた2018年以来的開催となったウォーキング大会。10月29日(日)朝から小雨の降る日曜日となってしまうでしたが、水元公園に124人集まり開催をしました。準備段階では雨に降られましたが、いざ10時の出発を前に雨がやみ、最終的には絶好のウォーキング日和の中、歩くことができました。

ウォーキング協会の3人の指導員からは、歩き始めの前の準備運動から、ウォーキングルートの作成及び先導、ウォーキング後の整理体操まで参加者が安全に歩くための指導をしていただきました。

2018年以来的のウォーキング大会 124人が秋の水元公園を楽しんだ

予定ルート5km、紅葉で色づき始めた公園内を1時間足らずで参加者全員が完歩。その後、昼食休憩を取り、最後はお楽しみ抽選会を開催して終了となりました。

久しぶりに開催したウォーキング大会、参加者の笑顔の中大成功で終えることができました。

支援プロジェクト 400人に支援物資配布

新型コロナウイルスに影響を受け支援を必要としている区民へ物資を届けようと、有志によって始められた生活支援プロジェクト。この秋も10月21日(土)に曳舟川親水公園で開催しました。今年は4月に続けて2

一定以上の建築物等の解体または改修の作業を行うときには、対象建築物等の石綿等使用有無についての調査が必要とされ、令和5年10月より、事前調査を実施するため必要な知識を有する者として、建築物石綿含有建材調査者が行うことが義務付けられました。

東京土建葛飾支部では組合内からの調査者所持者を求める問い合わせに備え、建築物石綿含有建

石綿調査者 支部リスト掲載者募集

材調査者のリストを作成し、公表を予定します。

このリストは葛飾支部所属の組合員が建築物石綿含有建材調査者の参考としていただくものであります。リスト掲載条件は①東京土建葛飾支部の組合員であること、②二月以上の組合費・保険料の滞納がないこと、③2点で、リスト化に関する諸費用はかかりません。申込・お問い合わせは支部まで。

秋の住宅デー 区内各所で開催

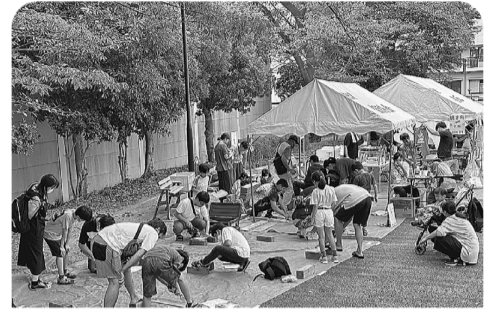
10月1日(日)11会場 8日(日)2会場



幸田分会 宮田公園会場



水元分会 井上工務店会場



水元分会 スポーツ公園会場



亀有分会 筒井工務店会場



新金町分会 東金町集会所会場



亀有分会 高木神社会場



新金町分会 末広公園会場



中央分会 曳舟川親水公園会場



細田高砂・柴又分会 高砂南児童遊園会場



堀切分会 堀切公園会場



青戸分会 青戸平和公園会場



たつみ分会 西井堀橋児童遊園会場



奥戸分会 奥戸天祖神社会場



メロン狩りを楽しんだ建長会のみなさん

建長会 バスレクに35人 鉾田でメロン狩り

【建長会担当 森書記】10月11日(水)に日帰りバスレクを開催しました。参加者は昨年の倍以上となる35名で茨城県鉾田市に向けバスは出

発。前日の暴風雨とは打って変わって、穏やかな気候で当日を迎えられました。
鉾田と言えばメロン!と聞くことでまずはメロン狩りを行いました。一人一玉、お土産として持ち帰るメロンを自分で選んで自分で狩りました。皆さん大きくて美味しそうなものを必死に探していました。
場所を移してメロンの試食へ。自分たちがメロン狩りをしたところのメロンを頂きました。あまりの美味しさに、併設されているお店でお土産用のメロンを買い求める人の行列ができていました。
昼食会場に移動し温泉に入ってから昼食を頂き、那珂湊の市場でお買い物をしてから葛飾に戻ってきました。皆さんメロンを抱えながらにっこり笑顔の一日となりました。

北水元分会レク わんわんランドで元氣いっぱい

【北水元分会担当 日暮書記】10月15日、北水元分会開催「つくばバスレクリエーション」を開催しました。参加者は北水元分会の青年部後継者世代で合計29名でした。



犬・猫と触れ合う

当日は水元の菓子工房キャラントを出発、初めに今回のメインである「つくばわんわんランド」を観光。
お天気はあいにくの雨でしたが、可愛いワンちゃん、猫ちゃん達との触れ合いを通じて、参加者の心は元氣いっぱい!

動物たちと想いっきり動いた後はお楽しみのお昼食。「ホテルマロウド筑波」のランチでおいしい中華料理とお酒を楽しみながら、参加者同士の親睦を深めました。
食後は霞ヶ浦へ移動して遊覧船「ホワイトアイリス号」へ乗船。勢いよく波しぶきをあげながら力強く航行する船内では雨にも負けず、ご家族連れのお子さん達を中心にデッキで楽しく過ごしていました。

下船後は旅の思い出作りのお土産タイム。茨城の思い出をたっぷり詰め込みました。参加者はみんな笑顔で、楽しかったと言ってくれました。
次回行うレクレーションも、楽しい企画になるよう、分會みんなで話合っています。

仲間の作品コンクール みなさんの応募待っています

今年も仲間の作品コンクールを実施します。葛飾支部組合員からも応募があり、毎年のように受賞作品がでています。写真は、写真部門の組合活動の部で芳井武さん(青戸)が佳作、短歌の部で篠田綾子さん(北水元)が佳作を受賞しました。

今年第40回となります。応募要綱は左記のとおりです。
《応募要綱》
【文芸の部】①短歌部門、②俳句部門、③川柳部門
※一人につき1部門5作品まで応募可。
【写真部門】①組合活動部門、②スナップ部門、③風景部門(各部門ともスマホ写真、A4又は六つ切りなどで応募。デジタルカメラ写真もOK。)④今年の課題Ⅱ「ア

PALレク開催 50人がランチを楽しむ



浅草ビューでランチ

【PAL担当 森書記】10月15日(日)に支部PALレクリエーションを浅草ビューホテルの26階「武蔵」にて行いました。昨年東部ブロックのPALレクリエーションが大好評で、参加した方から「支部でもやるべきだ!」とご意見を多数頂いての企画となりました。
参加人数も定員一杯の50名集まり、ランチビュッフェに舌鼓を打ちました。家族や仲間と会話に花咲かせ、笑顔が溢れたレクとなりました。

「仕事や趣味、スポーツなど真剣に打ち込んでいる、頑張っている、そして楽しんでいる姿は人のこころを打ち前向きに元気にさせてくれます。厳しい時だからその皆さんの「アツい!」姿を募集する部門です」
締切:12月末(支部業務日までに)



2022年写真部門【佳作】雨降る中 芳井武さん(青戸)

ウクライナ戦火の映像きり代えて サッカー拍手がながれ

篠田 綾子

2022年短歌部門【佳作】篠田 綾子さん(北水元)

公式LINE 登録しよう

葛飾区自転車ヘルメット補助

葛飾区では、今年8月21日から来年2月29日までの期間で自転車用ヘルメットへの補助制度(上限3000円)を開始しました。対象の方は申請をしましょう。

【助成対象】葛飾区内在住で自転車を利用する個人
【対象ヘルメット】令和4年12月20日以降に購入した物

【問い合わせ】03-4221-1345

【締切】令和6年2月29日まで(但し、1万個に達し次第終了)